



## 各種食物中のビタミンK含量

**納豆、クロレラ**は食べないで下さい。

また、その他ビタミンK含量の多いものは**大量摂取**しないで下さい。

野菜類	単位:V.K ( $\mu\text{g}/100\text{g}$ )	野菜類	単位:V.K ( $\mu\text{g}/100\text{g}$ )	その他	単位:V.K ( $\mu\text{g}/100\text{g}$ )
パセリ	850	サニーレタス	160	牛乳	2
シソ	690	セリ	160	ヨーグルト	1
春菊	460	ブロッコリー	150	プロセスチーズ	2
モロヘイヤ	450	チンゲン菜	120	バター	30
アシタバ	380	サラダ菜	110	マーガリン	53
カブ(葉)	370	ハクサイ	87	鶏卵(全卵)	13
オカヒジキ	360	キャベツ	78(なま)	糸引き納豆	870
ツルムラサキ	350		76(ゆで)	フライドポテト	46
ダイコン(葉)	340	オクラ	75	マヨネーズ	140
ニラ	330	サヤインゲン	51	味付けのり	650
コマツナ	320	大豆マヤシ	49	ひじき	320
ホウレンソウ	320(ゆで)	アスパラガス	46	カットわかめ	1600
	270(なま)	キュウリ	34	クロレラ	
		レタス	29	含有食品	3600
ミツバ	250	カボチャ	27		
カイワレダイコン	200	青ピーマン	20		
クレソン	190	セロリ	10		

[参考資料：五訂日本食品標準成分表]

(緑黄色野菜などは食生活上  
や栄養学的にも適量摂取する必  
要があり、ビタミンKを避ける  
必要はありません。)

## ワーリン錠の抗凝血作用に影響する恐れのある薬剤

他の薬剤との相互作用は、可能な全ての組合せについて検討されているわけではありません。抗凝血薬療法施行中に、新たに他剤を併用したり、又は休薬する場合には、凝血能の変動に注意してください。

作用を増強する薬剤・飲食物

薬効分類	成分名
催眠鎮静剤	抱水クロラル、トリクロホスナトリウム
抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウム、ヒダントイン系薬剤(フェニトイン等)
解熱鎮痛消炎剤	アスピリン、アセトアミノフェン、イブプロフェン、インドメタシン、ケトプロフェン、サリチル酸類、ジフルニサル、スリダク、トルメチン、ピロキシカム、フェニルブタゾン、フェノプロフェン、ブコローム、フルルビプロフェン、メフェナム酸等
精神神経用剤	塩酸メチルフェニデート、三環系抗うつ剤、パロセチン、マレイン酸フルボキサミン、モノアミン酸化酵素阻害剤
不整脈用剤	アミオダロン、塩酸プロパフェノン、硫酸キニジン
利尿剤	エタクリン酸
高脂血症用剤	シンバスタチン、デキストラン硫酸ナトリウム、フィブラート系薬剤(クリノフィブラート、クロフィブラート、シンフィブラート、フェノフィブラート、ベザフィブラート等)、フルバスタチンナトリウム

薬効分類	成分名
消化性薬用剤	オメプラゾール、シメチジン
ホルモン剤	抗甲状腺製剤、甲状腺製剤、ダナゾール、蛋白同化ステロイド
痔疾用剤	トリベシド
抗血栓剤	血液凝固阻止剤(ヘパリン、低分子量ヘパリン等)、血小板凝集抑制作用を有する薬剤(イコサペント酸エチル、塩酸サルボグレラート、塩酸チクロピジン、オザグレルナトリウム、シロスタゾール、ペラプロストナトリウム、リマプロストアルファデクス等)、血栓溶解剤(ウロキナーゼ、t-PA製剤等)、プロテインC、バトロキソピン
痛風治療剤	アロプリノール、スルフィンピラゾン、プロベネシド、ベンズブロマロン
酵素製剤	ブロナーゼ、プロメライン
糖尿病用剤	スルフォニル尿素系糖尿病用剤(クロルプロバミド、トルブタミド等)
抗腫瘍剤	アザチオプリン、クエン酸タモキシフェン、クエン酸トレミフェン、ゲフィチニブ、フルオロウラシル系薬剤(カベシタピン、テガフル、フルオロウラシル等)及びその配合剤、フルタミド、メシル酸イマチニブ、メルカプトプリン
抗生物質製剤	アミノグリコシド系、クロラムフェニコール系、セフェム系、テトラサイクリン系、ペニシリン系、マクロライド系
化学療法剤	アミノサリチル酸類、イソニアジド、キノロン系(塩酸シプロフロキサシン、オフロキサシン、ナリジク酸、ノフロキサシン、レボフロキサシン等)、サルファ剤
抗真菌剤	イトラコナゾール、フルコナゾール、ミコナゾール
抗ウイルス剤	HIVプロテアーゼ阻害剤(アンブレナビル、サキナビル、メシル酸サキナビル、メシル酸デラビルジン、リトナビル等)
抗原虫剤	キニーネ、メトロニダゾール
その他の医薬品	アルガトロン、イブリフラボン、インターフェロン、塩酸オザグレル、グルカゴン、ザフィリルカスト、シサプリド、ジスルフィラム、トラニラスト
飲食物	アルコール

作用を減弱する薬剤・飲食物

薬効分類	成分名
催眠鎮静剤	バルビツール酸誘導体
抗てんかん剤	カルバマゼピン、プリミドン
高脂血症用剤	コレステラミン
ホルモン剤	副腎皮質ホルモン
抗腫瘍剤	アザチオプリン、メルカプトプリン
抗生物質製剤	グリセオフルビン、リファンピシン
その他の医薬品	ビタミンK含有製剤
飲食物	アルコール、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort; セント・ジョーンズ・ワート)含有食品、納豆、クロレラ食品

相手薬剤の作用増強

薬効分類	成分名
刺激療法剤	オーラノフィン